

よいことの
ために
手を取りあおう

週報

Weekly Report
2025-2026

事務所 三重県伊賀市西明寺 2756-104 ヒルホテルサンピア伊賀内
TEL 0595-24-4650 FAX 0595-24-4656
例会 毎週木曜日 12:30 第3週例会 18:00 点鐘
ヒルホテルサンピア伊賀 TEL 0595-24-7000



■URL : <http://www.ict.ne.jp/~u-eastrc/>
■e-mail : u-eastrc@ict.ne.jp

本日の例会 第2087回 2025年11月6日(木)

開会点鐘 12:30

国歌斉唱『君が代』

ロータリーソング『奉仕の理想』

出席報告

会長の時間

幹事報告

ニコニコボックスの報告

本日の行事 『保護犬保護猫の現状』

ワンニャンプロジェクト代表 中川りえこ様

閉会点鐘 13:30

前回の例会 第2086回 2025年10月23日(木)

開会点鐘 12:30

ロータリーソング『日も風も星も』

歌唱指導『あの素晴らしい愛をもう一度』

出席報告

会長の時間

幹事報告

ニコニコボックスの報告

本日の行事 『これからの地域経済の展望』

上野商工会議所会頭 田山雅敏 様

閉会点鐘 13:30



田山雅敏会員 旭日小綬章

クラブより金一封が贈呈されました。

出席報告 中西会員

正会員 37名、出席者 27名 出席率 87.10%

会長の時間



皆さん改めましてこんにちは。今日は2630地区から近藤さんが来ていただけてます。公共イメージ委員会から、取材ということでホームページにも掲載していただくことになっております。また、田山さんには、そこのカウンセラーもお勤めになっているということで、しっかりと見ていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。さて、高市新総裁、女性初ということで決定の時はゴルフをしとったんですけども本会議場での決定時には本当にちょっとグツときたところであります。そのせいか僕のスコアはふるわなかったんですけど。女性ということでもなくてですね、本当に努力された方が、総理になって活躍されて、それがたまたま女性であったということでもあります。加えて、財務大臣も片山さつきさんということで、これも女性初ということでもあります。片山さつきさんは大蔵省の主計官ということでトップのキャリアから、今度は大臣でまた財務省に入るといって、まあすごいなと。

今日は、田山さんの卓話いただきます。地域経済の発展の月間ということで、これにちなんでお話ということでございますので、田山さん、どうぞ、しっかりと伊賀のこれからの経済の展望を語っていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。会長の時間とさせていただきます。

幹事報告

- 1 次週休会です。次回は11月6日です。
- 2 11月1日開催のIM参加の方、集合時間ご注意下さい。12時15分サンピア出発。

委員会報告 長谷川45周年実行委員長

先週、45周年記念イベントの担当表お配りしました。各自自分の役割ご確認ください。ご協力よろしくお願いします。例会終了後、第4回実行委員会開催しますので、関係各位ご参集をお願いします。

ニコニコボックスの報告 樋口委員長

岐阜東南 RC 近藤浩史…本日はクラブ取材訪問に伺っております。例会中写真撮影をさせていただきます。
よろしくお願いします。

木津会長…高市早苗総理大臣誕生を祝して。

宮岡幹事…公共イメージ委員会近藤様ようこそお越し下さいました。田山さん卓話よろしくお願いします。

鈴木・中里・山本・平井・樋口・栗本・伊藤・中井会員…田山さん本日卓話楽しみにしております。

乾・出後・中尾・福永・中西・三山・中村・山森・長谷川会員…田山さん本日卓話よろしくお願いします。

田山会員…誕生日を自祝して。近藤前公共イメージ委員長をお迎えして。

恒岡会員…秋らしくさわやかな季節になり、すごしやすくてうれしいです。

岡田会員…早退のお詫び

本日の行事： 『これからの地域経済の展望』 上野商工会議所 田山雅敏会頭

まずは、公共イメージの前委員長で、近藤浩史さん、ご紹介いたします。



近藤さん岐阜の東南 RC の会員でいらっしゃるんですね、長い間、公共イメージに携わってまいりました。超ベテランであります。ちょっと余談ですけど、別荘をお持ちになってまして、この間、ご招待いただいて行ってまいりました。郡上八幡、東海北陸道、美並からちょっと山道を行ったところ、そこにですね、農家を改造したような形で 15 人ぐらいまで泊まります。近藤さんとお近づきになって、1 万円ぐらい貸してくれるので、利用されてはどうでしょうか。

私も公共イメージのカウンセラーするようになってですね、ロータリーであり、他の奉仕団体、ライオンズ等なかなか差別化が難しくなってきた状況はあるわけですけど、基本的にやっぱりロータリーを認知してもらわないとだめ。で、そのためにはクラブで、いろんな奉仕活動をするので、それを PR して、結果として会員増強になるというサイクルを回す。この流れは間違っていないで

ですけど、やっぱり PR していくことが大事。45周年事業もありますから、こういう時は一つのチャンスですから、

ぜひ積極的にやっていただきたい。実はテクニックがあって、例えば記者クラブにポンポン案内を入れておくだけで、ちょっと弱い。記者見つけて、こういうの入れたからちょっと読んでくれと。説明して、ぜひ記事にしてくれと、ちょっと一言添えるだけで大変雰囲気違うと思います。そこまでの配慮が必要です。で、ロータリーの中で今まで一番有名だった人って誰かなって、いろんな方いるけど、最近亡くなられた千の玄室さん、皆さんお亡くなりになったと知ってるでしょ。私はロータリーの中では彼が今一番有名人かなと思っているんです。もちろん一生懸命活躍されている方はたくさんいらっしゃいますけど、それほど、表に出てるわけでもないし、話題性もあるわけでもないで、どうしても千さん。1、2年前に各務原の自衛隊にも来ていただきましたし、最近の名張の50周年かな。その時親しくお話をさせていただきました。元気な人。私よりも耳も達者で。でも、その千さんが、じゃあいろんな形で紹介される時に、茶人であり、それから文化勲章いただいたとか、いろんな紹介がされてるんですけど、ロータリー的な紹介っていうのは、ほとんどない状況です。これはちょっと残念だなと。今度11月の何日かにお別会を京都でやるから、京都の方はたくさん来られるけど、ロータリーという切り口でやった場合に、あの有名な千さんのこと、どういうふうに見直すんだと。RIの理事長からお花が届くのかどうか知りませんが、これもPRになりますから、当然そういうことを考えていかなきゃいけないなと思ったりしている状況です。

今日の本題の方に入らせていただきます。名張市が財政難で、ちょっとややこしい状況になってですね、ここ一二年の勝負だと思います。非常に厳しい状況にあります。こうなってくると伊賀市にも負担がかかります。今急激に人口が減っています。この人口が減るということが、その経済活動上、ものすごい障害になるわけです。一生懸命地元で商売しても、やっとの思いで維持できる、そんな状況です。もとは名張は伊賀市よりも人口の減小が少なかったが、ここにきて急激に今減り出しています。じゃあそこで働く人、就業者の確保をどうやってするのか。伊賀市内の職業高校、卒業生も伊賀で就職してくれる子が100人いるかいなか。たった100人です。だから、中途の人材を確保する。途中で人材を確保するという形が、これからもう一般化していく。それと同時に、就労者確保のためには広域化せざるをえない。どういうことかということ、例えばゆめが丘見ていただくとわかります。三重ナンバーだけじゃない。奈良、滋賀、京都ナンバー。広域圏に実際に働きに来ていただいている、これが現実です。もうちょっとしたら、もっと広域になるんじゃないか。これはインフラ次第です。今、名張から約8000台の車が働きに来ている。4車線化早くしてください。もう50年前から要望してるが、何も進まない。ここは伊賀の背骨で、特に名張方面の方は東に行くのに、基本的には名阪国道でしょう。そうすると名張のためにもね、どうぞ拡幅してください。だいたい進みましたけど。これ毎年毎年言わないとダメなんです。

上野で今工場生産額8000億から9000億ぐらい。名張は半分あるかないか。非常に少ない。土地がないのもあるんですけど、幹線道路も大きい。名張が苦しいのはこういうことです。要するに市としての自分の予算ですね。固定資産税・住民税等財源を確保する。こういうのに対して、無神経にやってるとですね、町がどんどん疲弊していくわけです。で、今ちょっと話戻りますけど、その広域化になっていくと、我々の商売も、ある程度、商圈を広げていかなきゃいけない。で、時間は距離を超えられるんで、上野に来てもらう。こういう状況には作っていかなきゃいけない。消費人口を吸収していかないとあかん。そう思ってるわけです。

実はですね、リニアの話、三重県に一つ、奈良県にも一つ駅ができます。三重県は亀山市に駅を作ると決まっています。で、実は今私が今提案しているのは、中津川のリニアの車両基地です。60ヘクタール、もう膨大な面積なんですけど。ここでの就労者の数が、これは車両基地だけじゃなくて、修理工場できますからね。1500人ぐらいJR東海の社員がそこに来るわけです。家族も含め、あるいは関係会社も含めたら相当なります。で、名古屋と大阪の間にも車両基地が必要なんです。で、ここ上野に車両基地を作る。この運動をこれから本格的に始めなきゃいけない。これ非常に大事なことです。それと、ほとんど地下を走るリニアの中でこの辺は地上を走りますから。そうすると、リニアが目の前を走ってるわけです。それはもう観光基地としては、鉄道マニアにとっては、たまらない場所であるわけです。こういうことに向けて、街の交流人口を増やしていけるチャンスがあります。

伊賀はそういう可能性は大にあると思うんです。周りの大きい都市がないですから、競争にはある程度打ち勝っていききたい、打ち勝っていける状況にある。それから、ふるさと納税、今だいたいそのルールを決めて、改善されまし

たけど、もっと積極的にふるさと納税とかPRして、これも自主財源になっていくわけですから、もっと積極的にいろんな仕組みを作ったり。長い目で真剣にもうちょっとやってもらいたいと思うんです。

それから、商品券クーポンのような形で、町の事業者、飲食店の需要を増やすために要請していたが、実現に至らず残念です。経済の仕組みはある程度理解できれば、街中で需要が喚起され活性化に繋がる、活きたお金の使い方にしてほしかったんですよね。だいたい市役所内でも議論があったみたいですけども。前の市長も博物館作りたいて、博物館作るイニシャルコストは何とかなるわからないかわからないけれど、それをずっと維持していかないといけない。そうすると安定収入、特に自己財源の資金がいる。そのためには工場誘致とかして、固定資産税確保して、その上で話をしなきゃいけないわけです。まず裏付けが欲しい。もう時間になりましたけど、私は、今月末で商工会議所会頭おりますので、9年間やらしてもらい大体いろんなことを言わせていただきました。

伊賀市を活性化していくためには、お金の裏付けをもちながら、かつ、市民一人一人がそういう気持ちを持ってやっていただけるということ。それと、広域になりますから、ご自分の活動領域を広げる努力をすることが大事だと思います。